

特徴と得意領域

幅広い業種で省エネルギー診断経験を有するベテランの専門家や、ビルエネルギーマネジメントシステム (BEMS) のデータの活用を得意とするIoTの専門家が在籍しており、省エネ提案、施工等の省エネルギー支援が可能。また、省エネルギーの具体的な対策だけに留まらず、経営の専門家が省エネルギー対策を経営改善につなげるべく支援を行っている。2020年度から本事業に初参画し、総合的な省エネ支援に取り組めるよう体制を強化している。

▶ **過年度事業参加実績** 令和2年度の1箇年参加 延べ支援者数10社

過年度事業における支援事例

某特別養護老人ホームのA重油の燃料転換を含む省エネ対策支援

広島県内の某特別養護老人ホームから、A重油の使用をやめる対策が提案できないかと相談を受けた。この事業所では、給湯用ボイラと蒸気ボイラでA重油を使用している。給湯系統へはエコキュートを導入し電気エネルギーに転換。洗濯機の温水加温と乾燥機の加温を行っている蒸気ボイラは電気とガスをエネルギーとするタイプに更新することで完全にA重油をなくし、エネルギー削減にもなる提案をした。2021年度の補助金に申請中で、リース活用により初期投資なしで削減額の中に収まるスキームを提案している。

エネルギーコスト 252万円/年 削減見込み



既設給湯ボイラ参考写真

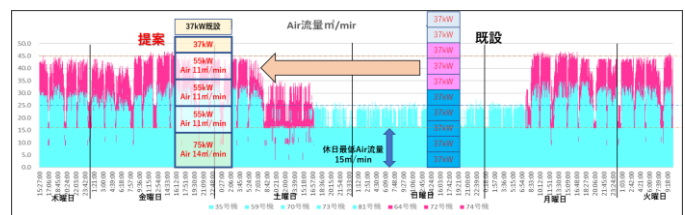


イメージ写真
※三菱電機カタログより

圧縮空気系統の計測診断によるコンプレッサの最適容量の選定と省エネ対策検討支援

某自動車部品製造工場から、複数個所に分散設置したコンプレッサの更新方法について相談があった。各コンプレッサの稼働状況を計測し、現状の圧縮空気の吐出量と工場全体に必要な圧縮空気の消費量を算出し最適容量の高効率コンプレッサを選定した。また、現地調査で見つかった配管系統の課題からAirタンクの適正配置、Air配管の連携接続、自動弁による切替制御等も提案した。

エネルギーコスト 459万円/年 削減見込み



工場内に必要なAir流量m³/minとコンプレッサ容量選定

事業者概要

- 電話番号：082-291-3888 09:00～17:00(平日)
- E-MAIL：h-hamamoto@system-keiso.jp
- 担当者名：濱本、杉ノ原、有田

1982年設立。自動制御・中央監視装置・BEMSの設計、施工、保守を行うビルシステム事業と省エネ診断から提案、施工、補助金支援等を行う環境ソリューション事業の2つの事業を行ってきた。

▶ 事業活用可能ネットワーク

《自治体》

- ✓ 広島県環境県民局環境政策課
- ✓ 山口県環境生活部環境政策課

《商工関連団体》

- ✓ 広島商工会議所
- ✓ 徳山商工会議所
- ✓ 新南陽商工会議所

《関連団体》

- ✓ 広島市中小企業支援センター
- ✓ 山口県地球温暖化防止活動推進センター

《金融機関/リース会社》

- ✓ 広島信用金庫、ひろぎんリース(株)

▶ 省エネ関連事業

《環境ソリューション事業》

- ✓ 省エネルギー支援、ESCO提案 (2019年度)
- ✓ 補助金申請支援(2020年度、2021年度)
- ✓ エネマネ事業者登録(2020年度)
- ✓ SHIFT事業認定支援機関(2021年度)
- ✓ 省エネ勉強会への講師派遣 (2020年度1件、2021年度 1件予定)
- ✓ 省エネセミナー(2020年度 広島開催、2021年度 広島・山口開催予定)

支援事例・セミナー情報等の詳細については、WEBサイト「省エネお助け隊ポータル」に掲載されています。

詳しくは、

省エネお助け隊ポータル



もしくは <http://www.shoene-portal.jp/>